



今月のトピック

CO₂当盤の トラブルシューティング

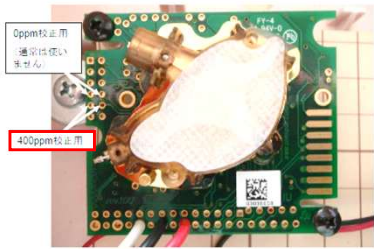
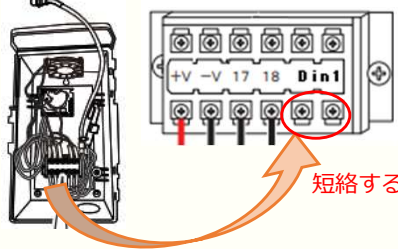


日中も夜間も温度が下がり、換気量が少なくなってきました。ハウス内のCO₂濃度が低下しやすくなり、CO₂発生機や濃度コントローラを使用する時期です。今回は弊社のCO₂濃度コントローラ『CO₂当盤』のよくあるお問い合わせを紹介します。

CO₂当盤を使い始める前に・・・

● CO₂センサーを校正しましょう（旧型のみ）※CO₂当盤Ⅱは自動校正タイプのため校正は不要です

- ① 電源を入れた状態でセンサーボックスをハウス外へ持ち出す、もしくはハウスをしっかり換気し、センサー周辺のCO₂濃度を外気の濃度（400ppm前後）に近い状態にします。
- ② 数値が安定したら、センサーを校正します。

校正端子がないタイプ	校正端子があるタイプ	校正スイッチがあるタイプ
センサー横の小さい穴 下から2番目をクリップなど電気が通るもので8秒以上短絡します	センサーボックスの『Din1』という端子をクリップなど電気が通るもので8秒以上短絡します	センサーボックスに校正スイッチがあります。スイッチを8秒以上押してください
		

- ③ 校正したあとに現在値が400ppmに近い数値を示していれば校正完了です。

● 時計を設定しましょう

電源OFFが長期間続くとCO₂当盤の内部時計がリセットされ、CO₂当盤が正しく動作しません。必ず時刻を確認、設定しておきましょう。

時計がリセットされると画面が点滅しています

- ① メイン画面の状態で「▼」ボタンを押して現在時刻の画面を表示します
- ② 「ESC」ボタンを押し、「設定」を選択、「OK」ボタンを押します
- ③ 「時計」を選択、「OK」ボタンを押します
- ④ 「時計を設定」を選択、「OK」ボタンを押します
- ⑤ 「▲」「▼」「▶」「◀」ボタンを使い、年月日・時刻を現在時刻に合わせます
- ⑥ 「OK」ボタンを押します → 時刻が設定できます ※「ESC」「▲」ボタンでメイン画面に戻ります



現在時刻の表示画面

★時計の設定メニューがない場合は？

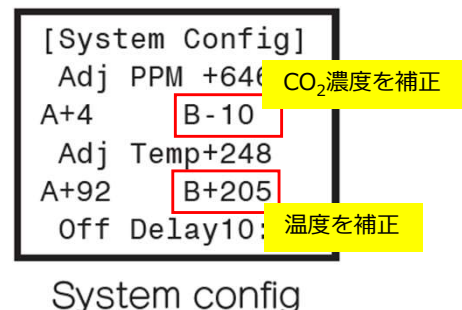
『設定』に『時計』のメニューが見当たらない場合は、プログラムが『操作者モード』になっています。『管理者モード』に変更する必要があるため、商品に記載されている栽培サポートセンターまでお問い合わせください。

CO₂当盤 よくあるお問い合わせ

● CO₂当盤の温度と他の機器の温度の表示に差があるが表示される濃度を合わせることとはできるか？

センサーの検出方法、センサーの個体差や誤差範囲、データのサンプリング方法が異なる場合は、表示される値にズレが生じることがあります。CO₂当盤の『System Config』画面で、数値を調整します。

もしくは、濃度の基準にする機器を決めて、その値をもとに設定値を入力します。CO₂当盤は外気よりどれくらい高くしたいのか、低くしたいのかを基準に制御する簡単な装置です。温度センサーの数値についても同様の対応となります。



● 設定濃度を超えても炭酸ガス発生機が稼働を続け、設定値を大きく上回ってまで上がってしまう。

CO₂当盤には『Off Delay』（オフディレー）という機能があり、ハウス内の CO₂濃度が設定濃度を下回り、CO₂当盤からの出力が始まると、Off Delayで設定した時間が経過するまでは必ず出力が続くしくみになっています。Off delayの時間が長いことでCO₂濃度が高くなりすぎる場合は、Off Delayの時間を短く設定します。

● スマートリレーの画面が表示されない。

電源を入れてもスマートリレーの画面が表示されない場合は、スマートリレー周辺の配線に接触不良がないか確認します。配線に問題がない場合は、スイッチング電源もしくはスマートリレーの故障が考えられます。



● CO₂濃度が設定値を下回っても炭酸ガス発生機が稼働しない。 CO₂当盤のステータスは『稼働中』となっている。

CO₂当盤や炭酸ガス発生機の設定を確認します。

長期間電源を切っている状態では、スマートリレーの内部時計がリセットされているため、施用条件になっても信号が出力されません。必ず時計を設定します。

設定に問題がなく、稼働しない場合は、配線間違いや接触不良、断線がないか確認します。

● 炭酸ガス濃度が 2000ppmまで上がってしまう。 炭酸ガス発生機の稼働が止まらない。

施用濃度の設定値の頭に『-』が入力されていたり、設定値が『0ppm』となっていたりするときは濃度に関係なく連続運転します。設定値を正しく入力します。